

建築確認停滞

8割「好転していない」

日事連 全国的には依然混乱

日本建築士事務所協会
連合会(三栖邦博会長)
は、全国46の都道府県建
築士事務所協会会長を対
象に実施した建築確認に
関する緊急アンケートの
結果をまとめた。9月の
アンケートに次ぐ第2次
調査となるもので、建築
確認手続きが混乱する
中、国土交通省の改善措
置が講じられているが、
全体の認識として「好転
してきた」とする回答は
17%にとどまり、「好転
していない」(依然停滞
している)が81%に達し

わたり聞いた。
建築確認について全体
の認識は、「好転してい
ない」が圧倒的に多かつ
た。「悪化している」も
2%あった。構造計算適
合性判定(ピアチェック)
が動いているかの質問で
は、「本格的に動いてい
る」が17%、「それなり
に動いている」が46%、
「動いているとはいえな
い」は37%だった。木造
住宅などの4号案件の建
築確認状況は、「それな
りに動いている」が80%
と回復の兆しがあった。
スケジュール予測が可
能になってきているかど
うかは、ピアチェック案
件で「依然読めない」が
78%と高く、非ピアチ
ェック案件では「だいた
い読めるようになった」が
39%、「依然読めない」が
41%とぎっ抗している。
構造技術者の確保につ
いては、苦勞している状
況が明確になっている。

建設通信

2007. 11. 28

停滞申請確認 への対応議論

日事連が全国会長会議



日本建築士事務所協会
連合会(三栖邦博会長)
は27日、東京都中央区の
八重洲富士屋ホテルで建
築士事務所協会全国会長
会議を開き、建築確認申
請業務の停滞への対応、
2008年12月の改正建

築士法施行などについて
議論した。

三栖会長は「構造計算
適合性判定(ピアチェッ
ク)対象の建築物を一律
の審査ではなく、簡素化
できるケースなどランク
付けもあるのではないか
と思つ。改正建築士法の
施行では設備の一級建築
士の数が不足する心配が
ある。現在のよつに着工
に遅れが出るなどの問題

が起きないように対策を
打つべきだ」とあいさつ
した。写真。国土交通省
豊前支庁審議官
小川富由(右)と述べた。